おおきな おおきな かぶになぁれ！～かぶの種まき～

さくら組 ⑧
R5.10.25

『おおきなかぶ』の絵本が好きなさくら組の子ども達。かぶを抜くシーンでは「うんとこしょ、どっこいしょ」と声を出しながら、身振りを付けて楽しんでいます。クラスでも実際に“かぶ”を育てて収穫することができるといいなと思い、かぶの種を用意すると、種の袋のかぶの写真を見て「かぶー！」と大喜びでした。保育者が種をまく様子に興味津々でしたが、いざ種をまこうとすると、あまりに小さな種をつまむのに苦戦する姿も見られました。それでも子ども達は、慎重に種をつまんだり、そっと土をかけたりしていました。最後は『おおきなかぶ』の絵本に出てくるように「おおきな おおきな かぶになれ～」とみんなでお願いをしましたよ。

保育者の手の中にある、
かぶの種に興味津々

種を穴の中に入れたら、
そーっと土をかけてあげてね。

小さな種を
上手に つまんでいるね

優しく土をかけているね

あまーい
あまーい
かぶになれ～！

おおきな
おおきな
かぶになれ～！

実際にかぶの種を見たり、触ったりして、五感で受け止め、かぶのイメージをもっています。
【自然との関わり】

『おおきなかぶ』の絵本に出てくるセリフを遊び（種まき）の中で再現することを楽しんでいます。
【豊かな感性と表現】

小さな種をつまむ時に、指の動きを調整しながらうまくつまんでいます。
【健康な心と体】